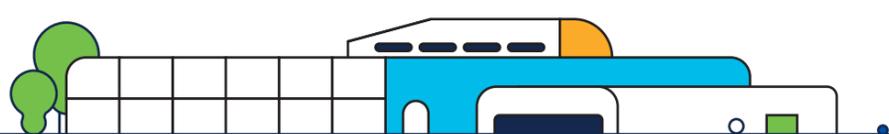


持続可能なファクトリーライン

ヤマザキマザック株式会社



スマートファクトリーへの変換を目の当たりに。

IoT テクノロジーを活用して、ヤマザキマザック社は生産における非効率な部分とエネルギー消費パターンを特定し、カーボンニュートラルと生産イノベーションの実現に必要なデータドリブンなソリューションを生み出すことに成功しました。

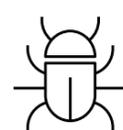
課題



生産データを可視化して非効率な部分を特定するスマートファクトリーシステムを実現する

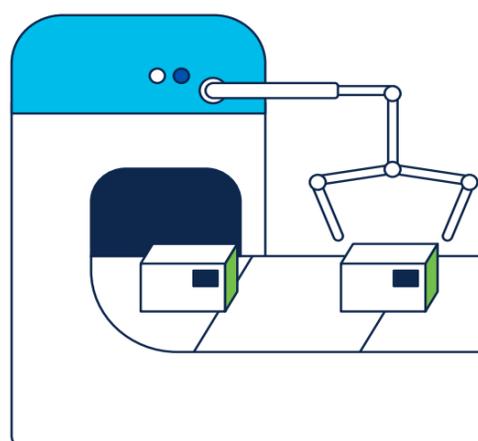


ロケーション別のエネルギー消費量を把握し、データドリブンなソリューションを採用する



生産施設をサイバー攻撃から保護する

ソリューション



新しいファクトリーラインのイノベーション

内部に Cisco® 産業用イーサネットスイッチが組み込まれた「Mazak SMARTBOX」というアプライアンスを開発しました。SMARTBOX によって、マシンと設備から得たデータを分析のためにデータレイクに転送して集約することが可能になります。

持続可能なプロセスの可視化

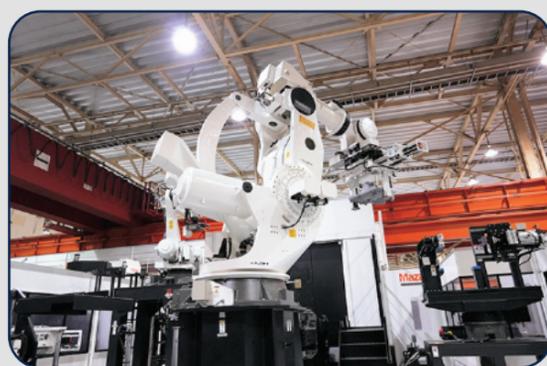
IoT 対応のネットワークでは、生産中の製品のフローを可視化してロジスティクスにおける効率性を高めることができ、生産の最適化とカーボンニュートラルが同時に達成されます。

データの活用

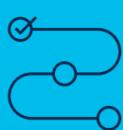
製造フロアから収集された運用データによって、工場の稼働率と工作機械の省エネパフォーマンスが向上しました。

「スマートファクトリー システムのデータドリブンなソリューションは、環境にやさしい方法を実践するうえでも、生産を最適化するうえでも不可欠です」

堀田政春氏
常務執行役員



バリューチェーン全体のサステナビリティに関するシスコの優位性



運用

- Cisco Catalyst® スイッチ
- Cisco 産業用イーサネットスイッチ およびルータ



セキュリティ

- Cisco Secure ソリューション
- Cisco ワイヤレス LAN ソリューション



ワークフォース

- Webex Meetings
- Webex Events
- Webex Room Series および Kits

